

「低体温症で発症した視神経脊髄炎の1例」について

加古川中央市民病院 脳神経内科では、現在、視神経脊髄炎で入院した患者さんに関して表題の研究を実施しております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

視神経脊髄炎では稀に視床下部病変を呈することがあるため、低体温症や過眠・無気力・無汗症などをきたすとされています。低体温症を呈した視神経脊髄炎は過去に少数の報告があるのみで、初発症状にして低体温症を認めた報告はさらに少ないです。今回、当院脳神経内科に入院し、発症時に低体温をきたしていた視神経性脊髄炎の患者に関して、過去の報告例との相違点を、またその特徴を明らかにすることで、低体温症の鑑別診断として視神経脊髄炎も挙がりうることを周知させます。

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦 2025年12月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

加古川中央市民病院脳神経内科に入院し、発症時に低体温症をきたした視神経脊髄炎患者さんの診療録から下記の情報を取得いたします。

- ①基本情報：年齢，性別，既往歴，内服薬，生活歴，家族歴。
- ②疾患情報：血液検査，髄液検査，細菌検査，病理検査，MRI検査，CT検査

【個人情報保護の方法】

この研究ではプライバシー保護に配慮し、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないように作成して加古川中央市民病院の鍵のかかる保管庫で管理します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 脳神経内科 責任者氏名：石原 広之

【データおよび試料提供による利益・不利益】

本研究では既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者に直接の利益、不利益は生じません。

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。本研究への参加を通じて、同じあるいは類似の疾患を呈する患者さんの治療後の経過予測や治療成績の向上に役立つ可能性があります。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の拒否および同意の撤回について]

データおよび情報の研究利用の拒否および同意の撤回についてはいつでも可能ですので、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。しかし、同意を撤回された時点ですでに研究成果が学会や論文などで公表されていた場合は廃棄ませんのでご了承ください。なお、同意の拒否および撤回による不利益はありません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 脳神経内科
研究責任者名 石原 広之
連絡先：079-451-5500